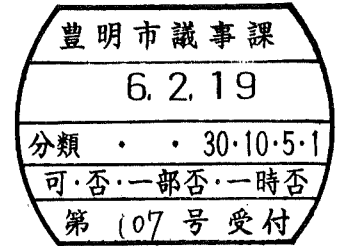


豊明市議会議長 殿



研修会・講演会等参加報告書

議員名 林 ゆきひろ

令和5年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日 付	研修先	研修項目及び成果等
令和6年2月11日	東郷町民会館視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024 年度予算審査のポイント</li> <li>・ 国の予算編成方針や留意事項について</li> <li>・ 他の自治体予算での見方について</li> <li>・ 他自治体議員との意見交換</li> </ul> <p>※詳細は別紙報告書のとおり</p>

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

# 令和6年度予算学習会の報告書

林 ゆきひろ

研修項目： 2024年度予算を読む  
講師： 公益財団法人地方自治体総合研究所 菅原敏夫 氏  
研修日時： 令和6年2月11日13時～17時  
研修場所： 東郷町民会館視聴覚室  
参加費： 3500円  
参加自治体： 豊明市、みよし市、日進市、常滑市、愛西市、東郷町、西尾市、

## 主な研修内容

13:00～15:00 菅原先生の講義

- ・2024年度予算の論点整理
- ・国の施政方針演説
- ・国、県の予算案など
- ・自治体財政の見通し
- ・こども子育て政策の仕組みと財源

15:30～16:50 各自治体議員との意見交換

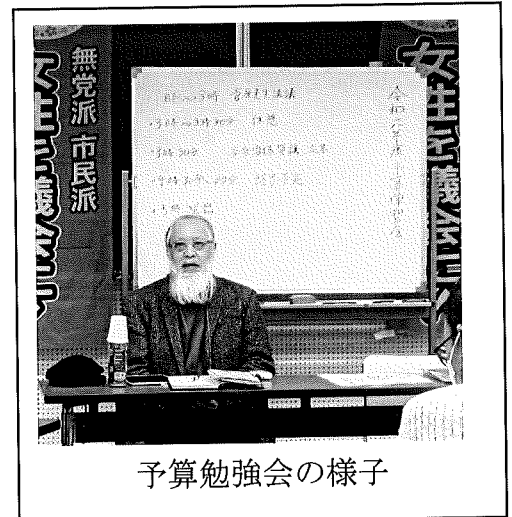
- ・各自治体の予算概要
- ・各自治体からの質疑応答
- ・各自治体議員との意見交換

## ◆学んだこと

### ① 全般について

はじめに、2024年度の政府予算案(2023年12月に閣議決定された当初予算案)、1月30日の岸田首相による施政方針演説、こども家庭庁発足後の最初の予算案(こども・子育て政策)等の解説があった。また、総務省による国の予算編成方針「留意事項」や、自治体として賢く使う予算とはどのようなものか、重要な箇所の講義をうけながら、今回の予算審査で着目すべきポイントを学んだ。

その後、本市周辺の様々な自治体の予算概要、予算編成方針を比較することで、予算審査の中で、どのような点に気を付けて審査すべきかを学ぶことができた。



## ② 2024年度予算の審査ポイント（講義）

2024年度のこども子育て政策に関する「自治体」の予算は極めて重要であり、こども家庭庁は「こども未来戦略」を掲げ、こども子育て支援の強化をすすめており、財源としては、地方交付税を確保するとのことでした。しかし、地方交付税には自治体で活用する事業の指定はなく、地方交付税を受け取った自治体の裁量で何にでも使える状況である。本市の場合、こども子育て政策はどのように展開されるのか、令和6年度の予算で注視する必要がある。無駄遣いを止めるということも重要であるが、時には借金をしてでも政策を打ち出す必要もある。その他、格差の是正、正規・非正規の問題、高齢者政策の再構築、貧困の高齢化等にも注視が必要であるとのこと、予算編成に向けて、様々な視点を学ぶことができた。

さらに、2022年度の自治体決算を振り返り、その課題を踏まえた予算編成となっているか、2022年度の決算審査で、質疑・討論した点が踏まえられているかも、令和6年度予算の審査のポイントであるとの説明もあった。

## ③ 予算編成を他の自治体と比較（意見交換）

国の政策による定額減税によって、令和6年度の自治体予算は、市民税による大幅な税収の減少が見られるが、国からの地方特例交付金により補填されるとのこと。しかし、多くの自治体では、財政調整基金の取り崩しや、地方債の起債（市債）が増えており、予算規模を増大しておきながら、まるで財政難をアピールしている様子も見られるとの意見もあった。財政調整基金の残高は、目安として、標準財政需要額の5～10%程度と言われているが、本市の場合は、目安が6億から12億程度のところ、約35億（令和4年度決算値）となっている。将来負担比率を参考にしながら、自治体の借金と貯金のバランスを考え、適切に将来投資も考えられているか、予算を審査すべきと学んだ。

その他、国の方針でもある民営化への対応や、有機農園の促進、給食の無償化など、各自自治体の政策を参考に、どのように取り組んでいくべきか、意見交換することができた。



他の自治体との意見交換の様子

## ◆所感

今回の予算学習会により、国の考え方、予算編成のポイントをはじめ、他の自治体の予算編成の考え方などを学び、令和6年度の予算審査において、注意して審査すべきポイントや、どのような視点で予算審査に臨むべきかを学ぶことができた。

予算書、予算概要、実施計画書の配布後、今回の学習会で学んだ内容を踏まえて、さらに、会派内でも議論を重ねて、令和6年度の予算審査に臨みたい。